

■通常事業評価シート【R6年度実施事業／消防本部警備課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	救急業務企画調整事業	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	泉州地域における救急業務の高度化を図るため救急業務の企画・調整を行う。	会議参加：7回 生涯教育病院実習：77当務 就業前病院研修：3人 挿管実習：6人 学会参加：6人	3：おおむね近づいた	その他	4,085	15,965	20,050	救急業務の高度化を図るために地域医療や他消防機関との連携を継続	地域医療及び地域の他消防機関との連携を密にする。	救急課として継続
2	救急・救命事業	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	救命率の向上を図るため、高度な知識と技術が求められる救急医療現場に適正に対処できるようにする。	資機材配備、保守、メンテナンス、備蓄	3：おおむね近づいた	その他	19,891	17,978	37,869	原材料費高騰に伴う資機材等の高騰への対応	物価高騰状況を見て配備やメンテナンスの見直し検討を実施する。	救急課として継続
3	開発許可・検査事業	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	災害などに対する予防、備えを充実するため、一定規模以上の開発許可に際し、消防検査を行う。	事前協議処理件数 86件（指導あり：10件・指導無し：76件） R7.3.28現在	3：おおむね近づいた	継続	-	2,172	2,172	消防装備や技術の変容に応じた技術基準の見直し	必要に応じて技術基準の見直し検討を実施する。	
4	広域災害等相互応援事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	大規模・広域災害に備えるため、近隣の消防機関と相互応援協定を結び、救援体制の強化・充実を図る。	相互応援協定に基づく 会議参加回数：8回 訓練実施回数：4回（見学含む）	3：おおむね近づいた	継続	14,167	5,441	19,608	近隣消防機関等との相互応援協定についての必要に応じた見直し調整	必要に応じて見直し調整を実施する。	
5	消防計画推進事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害などに対する予防・備えを充実するため、消防計画の企画、調整及び進行管理を行う。	災害警備本部訓練実施回数：3回 職員動員計画見直し回数：2回	3：おおむね近づいた	継続	-	1,809	1,809	災害対応力の強化のための必要に応じた見直し調整	必要に応じて見直し調整を実施する。	
6	指令管制事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	迅速かつ的確な消防救急活動を確保するため、緊急通報受信及び出动指令を適切に行う。	岸和田市忠岡町消防指令センターの令和6年緊急通報（119番）受理件数：21,047件（岸和田市：19,218件・忠岡町：1,829件）	3：おおむね近づいた	継続	-	65,596	65,596	大規模災害時の通報輻輳時の最適な指令管制体制の見直し調整	必要に応じて見直し調整を実施する。	
7	通信機器管理事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	迅速かつ的確な消防救急活動を確保するため、通信機器の維持管理を適切に行う。	指令センターシステム 保守点検1回 デジタル無線システム 保守点検1回	3：おおむね近づいた	継続	37,924	6,145	44,069	通信機器の適切な維持管理の実施	保守点検を適切に実施し、予防保全を積極的に取り入れて、適切に通信機器の維持管理を実施する。	
8	通信機器整備事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	迅速かつ的確な消防救急活動を確保するため、通信機器の増設、機能追加及び更新を行う。	緊急通報の映像通報機能（ライブ119）導入と運用	3：おおむね近づいた	継続	6,001	363	6,364	新機能等の導入検討の対応及び通信機器の適切な更新	技術革新による新機能の導入等、消防通信機器の動向を注視し、適切に対応する。	
9	消防水利整備事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害時等で使用する水利施設を確保するため、消防水利の適正な配備をする。	消火栓整備基数 13件（更新：13基）	3：おおむね近づいた	継続	9,161	1,809	10,970	消防水利の整備に関わる関係機関（水道部局）との連携	関係機関との連携を密にする。	
10	消防車両管理事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防業務の円滑な運営を確保するため、消防車両の管理を適切に行う。	法定点検 49件、車検 14件	3：おおむね近づいた	継続	22,612	2,350	24,962	消防車両の適切な維持管理の実施	点検を適切に実施し、予防保全を積極的に取り入れて、適切に消防車両の維持管理を実施する。	
11	消防車両整備事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防業務の円滑な運営を確保するため、消防車両の整備や更新を適切に行う。	消防車両更新計画の見直しを検討した。	2：一定近づいた	継続	36,174	1,598	37,772	原材料費高騰に伴う車両価格の高騰への対応	価格高騰の動向を注視し、車両整備の適切な予算確保を図る。	

■通常事業評価シート【R6年度実施事業／消防本部警備課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
12	警備課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	警備課業務の円滑な運営を遂行するため、庶務の見直しを検討した。	3：おおむね近づいた	継続	-	25,209	25,209	課内の事務事業等の共有、引継ぎ、及び効率化を推進	課内の事務事業等の共有、引継ぎ及び効率化の検討を継続的に実施する。	